

国際コミュニケーション学科

1. 教育研究上の目的

国際コミュニケーション学科は、国際関係と異文化に対する広範な知識と深い理解力、併せて高度の言語並びにコミュニケーション能力の習得を通して、国際社会に積極的に貢献する人材を育成することを目的とする。

2. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学学則に定める期間在学し、所定の教育課程を履修して、以下に示す能力を身につけ、卒業に必要な単位を修得した者に「学士（国際コミュニケーション）」の学位を授与します。

[知識・理解]

1. 国際社会の特質やその多様な文化に関する広範な知識とすぐれた見識をそなえている。
2. 国家間、文化間のコミュニケーションに必要な学識を継承していくことができる。

[汎用的技能]

3. 国際社会において、また異文化との間で、的確かつ円滑にコミュニケーションすることができる語学力を身につけている。
4. 学術上、社会生活上の問題の発見・分析・解決に必要な思考力・判断力・表現力を身につけている。
5. 現代社会において必要とされる情報コミュニケーションの技能を修得している。

[態度・志向性]

6. 多様な文化と相互理解を図ることができる広い視野をもっている。
7. 国際社会で活躍できる教養と品格をそなえている。
8. 諸文化の価値を認め、適切な敬意を払うことができる。

3. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際コミュニケーション学科では、国際社会で活躍するために必要な知識とコミュニケーション能力、豊かなグローバル感覚を身につけるために、「国際関係」「地域文化」「英語圏文化」の3つの分野を段階的に学習して、学際的な認識と理解が深まるように専門科目を体系的に編成しています。

1・2年次には、大学4年間の学習の動機付け、基礎能力の育成、問題発見・解決能力、自分の考えを伝える表現力を養うことを目的に、国際コミュニケーション基礎演習科目群、国際関係基礎科目群、地域文化系基礎科目群、英語圏文化基礎科目群を開講し、初年次教育の充実を図っています。2年次以降は英語演習基礎科目群と国際関係専門科目群、地域文化系専門科目群、英語圏文化専門科目群を設置します。また、専門科目や初年次教育の学習過程で修得した知識を世界に向けて的確に発信するコミュニケーション能力を培い、異文化理解を深めるために、国際文化交

流学部共通科目として、国際共通語の英語（外国語科目1群）と他の主要な言語（同2群）、情報技術科目群、日本語表現法科目群、国際文化交流論科目群、人間・環境系科目群、スポーツ・健康科学科目群、国際文化交流演習科目群など、様々な分野の科目を体系的に編成しています。

3・4年次には、国際コミュニケーション基礎演習科目群を含む専門科目、国際文化交流学部共通科目で学んだことを踏まえ、様々な問題の発見と分析および解決能力の習得を図るために、国際コミュニケーション専門演習科目群、外国語演習科目群を編成します。

4年次は卒業論文、卒業研究等に取り組むことで、高度なコミュニケーション能力と豊かなグローバル感覚を培い、国際社会で活躍できるスキルを身につけます。

4. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

（入学者に期待される資質・能力〔求める学生像〕）

国際文化交流学部は、学則にある本学および本学部の目的にもとづき、次のような人が入学することを期待します。

- 国際文化交流を通じて人類の平和と文化の発展に貢献しようと考えている人。
- 文化の多様性を尊重し、人間の尊厳を守ることのできる人。
- 幅広い教養と地球的視野を身につけ、自らの人生を切り拓こうとする人。
- 大学で学ぶために必要な論理的思考力、知識、語学力をもつ人。
- 他者と協働しながら主体的、積極的に学ぶことのできる人。

国際コミュニケーション学科は、学則にある本学科の目的および卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）にもとづき、特に次のような人が入学することを期待します。

- 国際関係と異文化に強い関心をもち、自らのコミュニケーション能力によって国際社会に貢献しようと考えている人。

以上